

# 本学学生の進路に関する一考察

－2004.3卒から2022.3卒までの19年間を振り返って－

鹿児島県立短期大学 学生課 主査  
内田 克巳

## 1 はじめに

短期大学卒業後の学生の進路については、民間企業への就職、公務員採用試験や教員採用試験の受験、四年制大学への編入学や海外留学などが考えられるが、本学における19年間の学生の進路について様々な視点から分析し、エピソードや2022年度のデータも交えながら本学学生の進路に関し、考察を試みたい。

これから就活や公務員採用試験、教員採用試験、編入学試験のための学習を始める学生や指導する教員の少しでも役に立ち、学生が自分に合った進路を選択することができ、ひいては鹿児島県の発展に寄与できれば幸いである。なお、文中意見の部分は私見であることをあらかじめお断りする。

## 2 求人数の推移

最初に、本学への求人数の推移を見てみることにする（表1）。3年おきの求人数（県内と県外を合計した数字）を比較してみるとその変動の大きさが分かる。なお、県外企業は100人単位で採用を行う企業も多いため県外企業1件につき求人数を1人とした。

求人数は、県内や全国の経済状況、景気、世界の情勢などに左右される。この19年間では、2008年のリーマンショック<sup>1</sup>が世界経済に大きな影響を与えた。日本でも株価の低迷や「派遣切り」など雇用に深刻な問題が生じた。「第二次就職氷河期」<sup>2</sup>といわれる時期が2011年くらいまで続くことになる。この時期の求人数を見てみると2010年3月卒が「343人」と19年間で最低の求人数となっている。2009年3月卒の求人数が「863人」なので前年度比39.7%の落ち込みである。特に県内の求人数は「266人」で前年度の「757人」と比較しても35.1%というとても低い数字となっている。リーマンショックが県内の企業にも大きな影響を与えたことがうかがえる。当時、求人のお願いに県内企業約20社を訪問したが、殆どの企業で成果は得られなかった。現在の「人手不足」や「求人難」の状況からは想像もできないことだが、そのような時代が確かに存在した。その後、日本経済は回復し、2019年3月卒の求人数が千人を超えている。この後、コロナ禍に見舞われたわけであるが、2022年3月卒でも900人余りとコロナ禍の影響をあまり感じさせない状況である。この好景気が続けばいいのだが、なかなか経済の先行きを見通すのは難しい。

表1 求人数の推移

04.3卒	07.3卒	10.3卒	13.3卒	16.3卒	19.3卒	22.3卒
477人	687人	343人	546人	990人	1,030人	919人

<sup>1</sup> リーマンショックとは、2008年9月に「リーマンブラザーズ」というアメリカの有力投資銀行が経営破綻したことが原因で世界的に株価が下落し、金融危機が生じたことである。

<sup>2</sup> ちなみに「第一次就職氷河期」とは1993年に起こった「バブル崩壊」後のおよそ10年間のことである。

※2004年は04と表記することとする。他の年も表中では同様とする。

### 3 有効求人倍率の推移

有効求人倍率は、求人数を求職者数で割った数字である。鹿児島労働局が公表しているものであり、求職者は県内の各職業安定所（ハローワーク）に登録している求職者である。新卒学生は、この求職者に含まれないが、有効求人倍率は景気動向を見る指数としてよく使われる。

参考までに鹿児島県の有効求人倍率の推移を示すと表2のとおりである。

表2 有効求人倍率の推移

2003年度	2006年度	2009年度	2012年度	2015年度	2018年度	2021年度
0.46	0.60	0.37	0.66	0.89	1.32	1.30

近年になって1倍を超えているが、それまではずっと1を切るすなわち1人の求職者に対して求人数が1人分もない状態であった。それが1倍を超えるようになり、ここでも「売り手市場」や「人手不足」を示す数字が出ているといえよう。

### 4 就職内定率の推移

求人数及び有効求人倍率を見てきたが、これらの状況の下、本学学生の就職内定率はどう推移してきたのか見ていこう。

表3 就職内定率の推移

04.3卒	07.3卒	10.3卒	13.3卒	16.3卒	19.3卒	22.3卒
96.3%	93.0%	94.7%	95.7%	98.7%	100%	100%

3年おきの最終就職内定率（卒業した翌月すなわち4月末日現在の就職内定率）は、表3のとおりである。就職内定率は、本学が鹿児島労働局に報告している第一部の学生の内定率とした。

就職内定率も前述のとおり「県内や全国の経済状況、景気、世界の情勢などに左右される」が、本学では90%以上をずっと維持している。それでもリーマンショックが起こった年の卒業生すなわち2009年3月卒の就職内定率が「92.1%」と19年間で最低の就職内定率となっている。しかし、不況の影響を受けても90%台の数字にとどまっていることは、就職に強い本学の特徴が表れているといえよう。

### 5 進路先の推移

どういう業界に何人就職したか、編入を何人したか、何人公務員になったかなどを、表4で示したい。民間企業の種類は、従来からの分類（一般企業、金融、保険・証券、農協、病院その他）とする。なお、直近の2022年3月卒の本学ホームページでの進路先の分類では、農協が組合等、病院その他が医療・福祉となっているが、長年分類してきたものに統一して比較するために組合等から農協を抽出し、農協以外の組合等たとえば

公益法人等は、病院その他に入れたのでお断りしておく。

表4 進路先の推移

単位：人

進路先	04.3卒	07.3卒	10.3卒	13.3卒	16.3卒	19.3卒	22.3卒
一般企業	102	109	75	116	97	107	97
金融	16	18	16	8	11	15	12
保険・証券	4	5	3	1	1	1	1
農協	8	4	11	9	7	4	5
病院その他	19	26	38	31	32	21	32
公務員	13	4	8	8	18	21	26
教員 <sup>3</sup>	5	0	0	0	1	3	5
編入進学	19	16	17	15	17	27	33
留学	5	2	5	5	0	2	2
専門学校等	4	3	5	8	2	5	4
公務員再挑戦	6	11	5	9	10	14	15
教員再挑戦	0	7	2	3	1	1	0

単位はあえて「人」とした。毎年度卒業生数が異なるため、本来は割合（パーセント）で表した方が適切であろう。しかし、何人当該進路先に進んだのかというのが直感的に分かる「人数」を採用した。なお、この人数は第一部の学生及び第二部の学生を合計した数字である。

表4からいえることは、以下のとおりである。

(1) 金融、保険・証券や農協に進む学生が減少傾向にある。

前年度より増えている年度もあるが全体的な傾向としては、減少傾向にある。2023年3月卒でも2022年12月末現在で、金融が10人と前年度を下回っている。金融がこの19年間で最も多かったのは、2009年3月卒の38人である。また、農協については2023年3月卒でも2022年12月末現在で3人である。農協がこの19年間で最も多かったのは、2010年3月卒の11人である。

(2) 公務員を目指す学生が増えている。

2022年3月卒では現役で公務員になった学生が26人と19年間で最多であり、2007年3月卒の4人の6倍強である。併せて「公務員再挑戦」の学生も増えてきている。2022年3月卒では15人と現役合格も合わせると合計41人の学生が公務員志望というわけである。この理由はいろいろ考えられるが、直近ではやはりコロナ禍の影響が挙げられる。コロナ禍で大きな影響を受けた業界の実態を見て、安定している公務員に魅力を感じたのかもしれない。それから本県に大企業がないことも一つの要因と思われる。また、公務員志望者の中では地元志向が挙げられる。過去印象に残った出来事が国家公務員、裁判所事務官、県庁、地元の市役所の4つの採用試験に全て合格した学生が就職

<sup>3</sup> 教員には、臨時的任用も含む。臨時的任用とは臨時的任用教員の略で1年以内の期間を定めて採用されるものをいう。

先として選んだのが地元の市役所であったことである。生まれ育った地元の発展に貢献したいという学生が増えているのであろう。

**(3) 四年制大学への編入学希望の学生が増えている。**

編入進学の数人は、大半が四年制大学への3年次あるいは2年次の編入学である。殆どは3年次編入学であるが修得単位の状況によっては2年次編入学となる。従来から本学には編入学希望の学生が一定数程度存在してきた。もともと編入学を前提に本学に入学してきた学生である。それらの学生に加え、本学に入学後に編入学を目指す学生も増えてきたといえる。それが顕著なのが食物栄養専攻である。管理栄養士の資格を取得するために四年制大学へ編入する学生が近年増えてきた。また、マスコミなど四年制大学卒の資格が受験の条件となっている業界に就職するために編入を目指したり、第一種教員免許の資格取得を目的として編入する学生もいる。直近10年間の編入先は、別表4に記載のとおりである。学科やコースが判明している場合は、学科やコースも表中に記載した。

**6 県内就職率と県外就職率の推移**

就職した第一部の学生と第二部の学生のうち、県内に就職した学生と県外に就職した学生の比率の推移を表5で見تينことにする。

表5 県内就職率と県外就職率の推移

	04.3 卒	07.3 卒	10.3 卒	13.3 卒	16.3 卒	19.3 卒	22.3 卒
県内就職率	97.6%	94.0%	93.6%	89.0%	83.9%	82.7%	89.4%
県外就職率	2.4%	6.0%	6.4%	11.0%	16.1%	17.3%	10.6%

本学は、従来から県内就職率が高かった。特に2010年3月卒までは、県内就職率が90%を超えている。県外に就職する学生は多くて10人程度であった。2013年3月卒以降では県内就職率が80%台となっているがそれでも県内就職率が高い状況である。この最大の要因は、本学がもともと鹿児島県内出身の学生が圧倒的に多いことによると考える。2022年入学の第一部と第二部の学生の合計274人のうち県外出身者はわずか6人である。更に最近はコロナ禍の影響で一層県内就職率が増えている状況にあるといえる。2022年3月卒の学生と2019年3月卒の学生の県内就職率を比較してもそのことが表れている。ただし、県外出身学生が自分の出身の県で就職したり、どうしても県外で就職したいという県内出身の学生も一定数存在するので、コロナ禍が収束すると県外就職率の割合は増えていくことも考えられる。

**7 各専攻・学科ごとの特記事項**

**(1) 日本語日本文学専攻（中学校国語科教員の現役合格）**

中学校国語の第二種教員免許が取得できることから、教員志望の学生が比較的多い。

1989年3月卒の日文の学生で本県の公立学校教員採用試験に現役で合格した学生は実に7人である。その後現役合格は減り続け、2001年3月卒では0人となる。2004年3月卒以降の公立学校教員の現役合格は、他府県も含めると以下のとおりである。

- 2014年3月卒（鹿児島県公立学校教員）
- 2018年3月卒（大阪府公立学校教員）
- 2019年3月卒（福岡県公立学校教員）
- 2021年3月卒（鹿児島県公立学校教員）
- 2023年3月卒（宮崎県公立学校教員）※

卒業して臨時的任用を経験して教員採用試験に合格した卒業生や四年制大学に編入して教員採用試験に合格した卒業生は全てを把握していないが、毎年数人はいるようだ。教員を志す学生に話を聞いてみると教育実習を経験して教員の魅力を再認識したと話す学生が多い。一方、教育実習を経験して自分には教員は向いてないと分かったと話す学生もいる。このことから職業体験の大切さが分かる。教員に限らず、仕事がしっかりとイメージできていないと早期離職につながるおそれがある。民間企業希望者や公務員希望者もぜひインターンシップや企業訪問などを活用して短期間でも職業体験をしてほしいと考える。

※2023年3月卒ではこのほか英文専攻の学生が鹿児島県公立学校教員採用試験に、生活専攻の学生が長崎県公立学校教員採用試験にそれぞれ合格した。

## (2) 英語英文学専攻（客室乗務員の夢の実現）

英文専攻の憧れの仕事はやはり航空業界であろう。オープンキャンパスでも「英文に入学して客室乗務員になりたい」という高校生の声を毎年のように聞く。コロナ禍で大きな影響を受けたのが航空業界である。CA（客室乗務員）の採用やグランドスタッフの採用を取りやめる航空会社等が続出した。2023年度から日本航空と全日本空輸の両社ともにCAの採用を再開する（日本航空は2022年度から再開）ということなので、挑戦してほしい。しかし、CAの採用試験は難関である。2004年3月卒以降のCAの合格状況は、以下のとおりである。

- 2012年3月卒（日本エアコミューター3人）
- 2016年3月卒（全日本空輸）
- 2019年3月卒（全日本空輸）

このほか鹿児島空港のグランドスタッフとして南国交通にいったん入社した学生が留学後に全日空系列のANAウイングスの客室乗務員採用試験に合格したり、建設会社に就職した学生が中途採用で日本エアコミューターの客室乗務員採用試験に合格したケースもあった。航空会社の客室乗務員は難関であるが、鉄道会社の客室乗務員や空港のグランドスタッフや空港の案内職には比較的多くの学生が合格している。別表1から別表3までを参照されたい。

## (3) 食物栄養専攻（受託から直営へ 管理栄養士のための編入の増加）

栄養士の資格を取得できるので、栄養士として就職する学生が多いが、他職種に就職する学生も毎年いるようだ。日文専攻のところでも述べたとおり学内や学外での実習を経験して栄養士として働くか否かという決断を下す学生が多い。就職先としては、給食受託会社か保育園や病院などの直営かの選択肢がある。また、将来は管理栄養士の資格取得を目指す学生も多い。管理栄養士の資格取得の方法として、栄養士として働き実務経験を積んで管理栄養士の試験を受けるより、四年制大学に編入して最短で管理栄養士の資格を取得しようとする学生が最近増えてきている。栄養士としての就職先の人数の

多いところの変遷をまず見ていく。

- 2004. 3卒（日清医療食品6人）
- 2007. 3卒（日清医療食品7人）
- 2010. 3卒（日清医療食品9人）
- 2013. 3卒（日清医療食品6人）
- 2016. 3卒（国保水俣市立総合医療センター5人）
- 2019. 3卒（今給黎総合病院4人）
- 2022. 3卒（国保水俣市立総合医療センター3人，いまきいれ総合病院<sup>4</sup>3人）

この動きは、受託から直営へという流れを端的に表している。同じ直営でも保育園希望の学生も一定数いる。栄養士の求人は食物栄養専攻の学生数30人をはるかに上回る数があるのが典型的な「売り手市場」である。他の専攻の学生のように1人で数社受験するということはまずない。ほとんどは1人1事業所の受験で、多くて3事業所程度の受験となっている。実習先からのオファーも多い。病院の人事担当者の方や保育園の園長先生から「実習に来られた〇〇さんにぜひ受けていただきたい」という嬉しい手紙が求人票と一緒に入っていたり、電話が来ることも珍しくない。学外実習に真剣に取り組み、高い評価を得られた学生には感心する。

管理栄養士養成課程の四年制大学への編入学生の人数が増えていると述べたが、その人数の推移は、表6のとおりである。

表6 管理栄養士養成課程の四年制大学への編入学生数

04.3卒	07.3卒	10.3卒	13.3卒	16.3卒	19.3卒	22.3卒
0人	1人	4人	2人	1人	2人	8人

このように急激に増加している。その学年ごとに志向が異なるので、一概にいけないが、この傾向は続くと思われる。2023年3月卒の学生も2022年12月末現在で3人の学生が管理栄養士養成課程の四年制大学への編入学試験に合格している。

(4) 生活科学専攻（ハウスメーカー，設計事務所への就職増加，アパレル業界にも強い）

生活科学専攻ではいろいろな業界や職種への就職が見られるが、近年ハウスメーカーでの設計職や設計事務所での設計職への就職が増えてきた。「建築デザイン系」で学んだ学生が二級建築士の受験資格を取得するための実務経験のため、このような傾向が見られるのであろう。また、「ファッションデザイン系」で学んだ学生がアパレル業界に進むケースも見られる。ハウスメーカーや設計事務所への就職者の人数は、表7のとおりである。

表7 ハウスメーカー，設計事務所への就職者数

04.3卒	07.3卒	10.3卒	13.3卒	16.3卒	19.3卒	22.3卒
2人	3人	2人	5人	6人	7人	4人

<sup>4</sup> 今給黎総合病院は2021年1月1日から鹿児島市高麗町に移転し、いまきいれ総合病院と名称変更をした。

### (5) 商経学科（公務員希望者の増加，金融にも強い）

経済専攻と経営情報専攻は，進路選択に大きな違いは見られないため商経学科全体で論じることとする。商経学科では，経済，経営，簿記，パソコン関係などの科目を学ぶため一般企業の事務職，経理職，金融，保険・証券に進む学生が他学科より多いが，近年では4(2)で述べたように公務員志望者の増加も顕著である。文学科と生活科学科の4専攻が定員30人であるのに比べ，商経学科は2専攻合わせて定員75人であるので，大学全体の進路傾向が表れるのが実状である。公務員と金融，保険・証券に進んだ学生の推移は，表8のとおりである。

表8 公務員，金融，保険・証券への就職者数

	04.3卒	07.3卒	10.3卒	13.3卒	16.3卒	19.3卒	22.3卒
公務員	2人	1人	4人	5人	12人	13人	13人
金融， 保険・証券	11人	20人	10人	2人	11人	14人	6人

公務員になる学生は見てのとおり，増加傾向である。金融，保険・証券に進む学生は，2013年3月卒及び2022年3月卒を除き，2桁を維持している。なお，2023年3月卒では，2022年12月末現在で公務員14人，金融，保険・証券10人である。5(1)でも述べたが2023年3月卒の金融10人は全て商経学科の学生である。

### (6) 第二部商経学科（多彩な進路先等）

第二部商経学科の学生はいろいろな進路に進んでいる。業界も様々であるし，職種も事務職をはじめ，販売職，営業職と多彩である。また，編入を目指す学生もいる。具体的な就職先と編入先は，別表1から別表4をご覧ください。第二部の学生は，第一部の学生より年齢が一つ上であり，昼間にアルバイトをしている学生が多い。このことから社会人に近い経験を積んでいることを評価され，企業の人事担当者の方が「第二部の学生にぜひ受験してもらいたい」とおっしゃることもある。一方で卒業生のうち，有職者でない学生つまり正社員や正職員として働いていない学生で「求職票<sup>5</sup>」を提出しないまま卒業する学生が一定数いる。第二部商経学科の課題は，これらの学生の支援であるとする。求職票を提出した学生の支援はもちろんのこと，有職者以外の学生には，なるべく求職票を提出してもらい，学生本人の意向もよく聞いた上で，できる限りの支援をしていくことが必要ではないかと考える。

## 8 初任給の推移

初任給がこの19年間でどのように推移してきたのかを県内企業3社を例に見てみたい。なお，全国の平均は，厚生労働省の賃金構造基本統計調査（初任給）の概況の数字を採用するが，残念ながら当該調査は令和元年度で終了しているので，最新の数字は比較できない。表9で比較することとする。

<sup>5</sup> 求職票（進路指導票）を提出しないと規程上は本学で職業紹介や面接指導を受けられない。

表9 初任給の推移

単位：円

	04.3卒	07.3卒	10.3卒	13.3卒	16.3卒	19.3卒	22.3卒
A社（金融）			140,400	140,400	165,000	165,000	165,000
B社（製造）				169,500	173,000	175,000	182,000
C社（販売）	159,000	159,000	159,000	159,000	161,000	162,000	162,000
全国の平均	164,200	166,900	168,200	171,200	175,200	183,400	未調査

※空欄は、求人がなかったり、当時の求人票が見つからなかったりすることによる。

鹿児島県の最低賃金が全国平均より低いことからこの結果は予想されたことだが、3社とも全国の平均の初任給を下回っている。県外企業に就職を決めた学生にその理由を聞くと県内企業の給与が低いので、県外企業に就職すると答えるケースもある。県内の企業も全国の平均の初任給の基準になるべく近づけることが人材の流出を防ぐ一つの解決策になるのではないかと考える。

## 9 面接指導等の回数

学生課が行っているマナー指導、履歴書添削、面接指導等を年間で何人受けたか（延べ人数）という数字を比較してみる。

表10 面接練習等の回数（延べ人数）

単位：人

04.3卒	07.3卒	10.3卒	13.3卒	16.3卒	19.3卒	22.3卒
不明	不明	1,866	1,904	1,295	945	935

2013年3月卒の学生の1,904人が最高で、その後、直近では半数以下に減少している。これは、コロナ禍の影響が一番考えられるが、コロナ禍以前の2016年3月卒の学生から減少が始まっている。学生課の指導を必ず受けなくてはならないというものではないが、いろいろな蓄積がある学生課での指導を受けた方が何かの役に立つと考えるので、学生の皆さんにはぜひ学生課の指導を受けてほしいものである。

## 10 おわりに

これまでいろいろな視点から学生の進路について分析してきたが、この19年間で大きく変化をしているのが分かる。求人数、進路先、面接指導の回数等様変わりしている。この結果から推測されるのは、リーマンショックが学生の就活に大きな影響を与えたこと、そして、その影響が薄らいだ後は、コロナ禍という特定の業界に影響を与えた出来事があったものの、長期的には「売り手市場」や「人手不足」が続いているということである。リーマンショックの頃は、短大生でも1人で10社以上受験するケースが珍しくなかったが、このような学生は最近はめったにいない。採用試験に受かりやすくなっているからこそ、学生には、より慎重にじっくり考えて進路選択をしてほしいものである。民間企業希望で3月から就活を始めながら12月以降もまだ未内定である学生も一定数存在する。そのうちの何人かと話をしたが、一つの業界や一つの会社にこだわりすぎているケースや、説明会には数社参加しているがまだ受験はしていないという消極

的なケースが見受けられた。自分が何をやりたいのか、どういう仕事がしたいのかつまり「自己分析」と「業界研究・企業研究」が不足していると言わざるを得ない。日頃から学生には何回も「自己分析と業界研究・企業研究をしっかりとやりなさい」と指導しているのだが、なかなか徹底されない。これから就職活動をする学生にはしっかりとこの2つをやってもらいたい。また、四年制大学への編入試験でも面接指導の模擬質問の中で「将来何をしたいのか」という質問の答えに窮する学生も見受けられる。編入学志望の学生にも大学でどういうことを学びたいのか、将来何がやりたいのか決めてから編入学の勉強にとりかかってほしい。いずれにしても教員や学生課職員の助言も得ながら自分に合った進路選択をしてほしいと考える。

別表1 2004年3月卒業生就職先一覧表（その1：文学科・生活科学科）

2004年4月末現在

	文 学 科		生 活 科 学 科	
	日本語日本文学専攻	英語英文学専攻	食物栄養専攻	生活科学専攻
就 職 先	鹿児島三越	小田原歯科	久遠保育園（2）*	JA あいら
	東市来町職員	日能研九州	明石屋	トヨタカラー
	コーポレーション	尚志館高校教員	日清医療食品（6）*	県公立学校教員（臨的）
	川内市職員	県職員（一般事務）	シダックス *	イケダパン
	JA 鹿児島いずみ	県職員（警察事務）	市比野記念病院 *	45rpm
	鹿児島市職員（2）	ECC ジュニアスクール	岐阜丸玉フーズ *	時報堂
	沖繩ツーリスト	JTB	ヤマエ久野	山形屋
	宮崎太陽銀行	高木耳鼻咽喉科	鹿児島市社会事業協会	ケース電気（2）
	JA さつま	岩田産業	親愛病院 *	三洋ハウス
	竹之下	オンワード樫山	伊敷保育園 *	鹿児島信用金庫
	アタックコーポレーション	鹿児島三越	富士産業（2）*	共栄火災海上保険
	明石屋	指宿市職員（2）	日本澱粉工業 *	濱島印刷
	積水ハウス	南国交通 ※	南給 *	鹿児島スバル自動車
	武中学校事務補	南給	加世田市職員	ミズノ
	かぎんオフィスサービス	鹿児島銀行	鹿児島ターミナルビル	豊島メック
	美創産業	宮銀スタッフサービス	マミィクリニック *	JA かごしま中央
	県公立学校教員（臨的） （4）	県公立学校教員（臨的）	鹿児島市職員	野村證券
	県職員（一般事務）	JR九州	JA あいら	新生社印刷
	メディアオ	JA 南さつま	山佐産業	城西高校教員
		JA かごしま中央	*は栄養士として就職	セキスイハイム
				電広
		※鹿児島空港グランドスタッフ		エルベック
				国民生活金融公庫
				林兼石油
	19企業等23人	20企業等21人	19企業等26人	24企業等25人

別表1 2004年3月卒業生就職先一覧表(その2:商経学科・第二部商経学科)

2004年4月末現在

	商 経 学 科		第二部商経学科
	経済専攻	経営情報専攻	
就 職 先	カコイエレクトロ	鹿児島銀行(2)	宮銀スタッフサービス
	エム・ディ・エス	鹿児島空港ビルディング	明石屋(2)
	南日本銀行(2)	コアガス日本	久保建設
	鹿児島相互信用金庫(2)	アクシーズ	エルベック
	林兼石油	康生産業	渡辺組
	三浦工業	かぎんオフィスサービス(2)	鹿児島銀行
	ヤマエ久野	薩摩町職員	霧島観光ホテル
	県教職員共助会	鹿児島信用金庫	NEC パーソナルシステム
	中崎公認会計士事務所	健康家族	ムラタ薬品
	鹿児島銀行(2)	宇都宮税理士事務所	マツダ
	コアガス日本	エム・ディ・エス	第一生命
	九州新城	護国神社	上釜税理士事務所
	扶桑薬品工業	南日本銀行	
	セイカ食品	鹿児島応用技術	
	霧島観光社	京セラコミュニケーションシステム(2)	
	鹿児島空港ビルディング	いわさきホテルズ	
	鹿児島信用金庫	中崎公認会計士事務所	
	ファイブフォックス	青雲病院	
	小城製粉	日本農産工業	
	鹿児島県畜産協会	三ツ矢ホーム	
	倉府食品鹿児島	県職員(一般事務)	
	南給	システム技研	
	昂	三洋ハウス	
	JA 県連		
	トヤマ薬品		
	鹿児島三越		
	MBC 不動産		
	三宅病院		
	ニッセイ 同和損害保険		
			※有職者が18人
	29企業等32人	23企業等26人	12企業等13人

別表2 2013年3月卒業生就職先一覧表（その1：文学科・生活科学科）

2013年4月末現在

	文 学 科		生 活 科 学 科	
	日本語日本文学専攻	英語英文学専攻	食物栄養専攻	生活科学専攻
就 職 先	レオパレス 21	富田薬品	竹之迫保育園 *	大勝病院
	鹿児島銀行（2）	南日本書道会	水俣市立総合医療センター（3） *	加根又本店
	JA 尾鈴	JA かがしま中央	幸寿会 *	山佐産業（2）
	南日本書道会	鹿児島三菱自動車販売	こぼと保育園 *	かごしま空港ホテル
	南日本放送（契約）	鹿児島サロイヤルホテル	太陽保育園 *	トータルハウジング
	鹿児島市職員	健康家族（2）	今村病院分院 *	七呂建設
	プリントネット	水潤電機	ルタンハウス	明石屋（2）
	ジャックス	かごしま水族館	鹿児島銀行	スタジオメディア
	薩摩蒸気屋	霧島記念病院	日当山保育園 *	康生産業
	鹿児島サロイヤルホテル	南国交通 ※	プラスエスコポーレーション	みずえだに歯科
	明石屋（2）	南州メディカル	総健サポートかごしま *	湯之元駅前調剤薬局
	エム・ディ・エス	マルセ工販	日清医療食品（5） *	フォーバル
	鹿児島トヨタ自動車	共栄火災海上保険	JA かがしま中央	クニカハ ソシ-ラボラトリー
	霧島記念病院（2）	大隅鹿屋病院		JA しばやし
	県職員（一般事務）（2）	天陽会中央病院		鹿児島銀行
	クニカハ ソシ-ラボラトリー		* は栄養士として就職	フランドル
	アクトコール	※鹿児島空港グランドスタッフ		ワールドストアパートナーズ
	吉田葬祭			南栄リース
	かごしまプラザホテル			伊集院病院
	ホテルセントイン鹿児島			モンテローザ
	宮崎太陽銀行			白男川薬局
	サツマ酸素工業			津曲工業
	ANA テレマート			
	あおい歯科			
	みずえだに歯科			
	いなざわ歯科			
	イケダパン			
	フォーバル			
マコセエージェンシー				
いわさきバス				
30企業等34人	15企業等16人	13企業等19人	22企業等24人	

別表2 2013年3月卒業生就職先一覧表(その2:商経学科・第二部商経学科)

2013年4月末現在

	商 経 学 科		第二部商経学科
	経済専攻	経営情報専攻	
就 職 先	スズキ自販鹿児島	Misumi	センシーズ
	エム・ディ・エス	健康家族(2)	太田歯科
	フォーバル	警察官	玉里自動車学校
	九州ケースデンキ	鹿児島市職員	九州ケースデンキ
	アップル不動産	マルセ工販	アクトコール
	ファルマコム	JR九州(2)	鹿屋市漁協
	ヤマダヤ	鹿児島銀行(2)	センコウ
	城山観光ホテル	プリントネット	健康家族
	更生会	セイカ食品	白男川薬局
	愛育病院	JA 県連	慶生会
	JA 鹿児島いずみ	玉里自動車学校	県職員(一般事務)
	裁判所事務官	三洋ハウス	介護の森
	クニカバ ソシテラボラトリー(2)	フォーバル	日伸産業
	明石屋	現場サポート	エクステンド
	鹿児島日産自動車	JA かごしま中央	南給
	日能研九州	大浦歯科	ニューバッグワカマツ
	ANSIN-LINK	南国殖産	
	WILL WAY ESTATE	モンテローザ	
	JA 食肉かごしま	レッドパロン	
	県職員(警察事務)	鹿児島米商	
	アルファイン	南日本薬剤センター	
	明昭産業	県職員(教育事務)	
	JA かごしま中央	新生社印刷	
		東横イン	
		武岡調剤薬局	
		明石屋	
		南給	
		クニカバ ソシテラボラトリー	
		更生会	
			※ 有職者4人
	23企業等24人	29企業等32人	16企業等16人

別表3 2022年3月卒業生就職先一覧表（その1：文学科・生活科学科）

2022年4月末現在

	文 学 科		生 活 科 学 科	
	日本語日本文学専攻	英語英文学専攻	食物栄養専攻	生活科学専攻
就 職 先	Misumi	明石屋（2）	大根占幼稚園 *	七呂建設（2）
	鹿児島銀行（2）	フォーバル（2）	いまきいれ総合病院（3） *	大進
	鹿児島信用金庫	セイハネットワーク	サザン・リージョン病院 *	桂設計
	南日本銀行	アウトソーシングテクノロジー	おおぞら保育園 *	丸屋本社
	ふじリゾート	鹿児島ホテル	大覚寺保育園 *	オーリック
	鹿児島市職員（2）	南日本銀行	三州病院 *	JA 共済連鹿児島
	ワイズ	かごしま電工（2）	ドラッグストアモリ	ニシムタ
	福江空港ビル	にしけい	霧島市職員	ビーザ・ワン
	JA さつま日置	JA 県連	池田病院 *	鹿児島銀行
	ドラッグストアモリ	鹿児島市職員（2）	御所こども園 *	出水ガス
	岸歯科医院	県公立学校教員	信愛保育園 *	D-Eye Kagoshima
	アルファー	JA さつま日置	日清医療食品 *	山形屋
	アイ・ティー・エックス	県職員（一般事務）	国保水俣市立総合医療センター *	上妻歯科
	キャリアパートナーズ	大隅鹿屋病院	一富士フードサービス *	セイカ食品
	伊敷保育園	日置市職員		宮崎銀行
	鹿児島県農業共済組合	オリオン自動車販売	*は栄養士として就職	小田代リハ整形外科
	県公立学校教員（臨的）（4）	ふじリゾート		県職員（教育事務）
	ナチュラル	TSUNAGU		県職員（一般事務）
	宮崎食品			鹿屋市職員
				南日本薬剤センター
				かごしま水族館
				JA そお鹿児島
				カムデン
				R1000
				夢真
				堤写真館
			光学堂	
			ixrea	
19企業等24人	18企業等22人	14企業等19人	28企業等29人	



別表4 四年制大学への編入学及び留学の状況（令和4年12月末現在）（その1：文学科日本語日本文学専攻）

2013年度卒	2014年度卒	2015年度卒	2016年度卒	2017年度卒	2018年度卒	2019年度卒	2020年度卒	2021年度卒	2022年度卒
鹿大法文(2)	鹿大法文(3)	鹿大法文(2)	鹿大法文(2)	鹿大法文(2)	鹿大法文(2)	鹿大法文(2)	鹿大法文(2)	鹿大法文(2)	鹿大法文(2)
鹿大教育	鹿大教育(国語)	鹿大教育(特別支援)	大阪教育大(第二部)	鹿大法文(国語)	熊本大(総合人間)	鹿大法文(国語)	鹿大教育(国語(2))	鹿児島国際大(国際文化(2))	鹿児島国際大(国際文化(2))
佐賀大文化(推)	北九州市立大(外国語)	鹿児島純心女子大(国際関係)			志学館大(人間関係)		高知県立大(文化)	名桜大(国際)	都留文科大(国文)
大阪教育大	活水女子大(文)	鹿屋体育大(スポーツ総合)			福岡大(日本文学)		鹿児島国際大(国際文化)	大阪教育大(初等教育(夜間))	
	都留文科大(文)	大阪教育大(第二部)					福岡大(日本文学)		
	長崎純心大(比較文化)	志学館大(人間関係)							
	愛媛大法文(文)								

(推)は学校推薦

学科やコースが判明している場合は、大学、学部に加え学科やコースまで記載



別表4 (その3:生活科学科食物栄養専攻)

2013年度卒 鹿大農	2014年度卒 山口県立大 看護栄養	2015年度卒 山口県立大 看護栄養	2016年度卒 鹿大農	2017年度卒 鹿大農 生命科学 (3)	2018年度卒 鹿大農 生命科学	2019年度卒 鹿大農 環境科学	2020年度卒 島根県立大 看護栄養 健康栄養	2021年度卒 九州栄養福 祉大食物栄 養(2)	2022年度卒 島根県立大 看護栄養 健康栄養
九州栄養福 祉大食物栄 養		佐賀大農 生命科学 学	鹿児島純心 女子大看護 栄養	山口県立大 看護栄養 栄養	山口県立大 看護栄 養(2)	鹿児島純心 女子大看護 栄養	中村学園大 栄養科学 栄養科学(2)	中村学園大 栄養科学 栄養科学	鹿児島純心 大看護栄 養(2)
		鹿大法文 人文		鹿児島純心 女子大看護 栄養(2)			長崎国際大 健康管理 健康栄養	鹿児島純心 女子大看護 栄養(4)	南九州大健 康栄養食 品開発科学
		福岡大人文 教育・臨床心 理					鹿児島純心 女子大看護 栄養(2)	岐阜女子大 家政栄 養	
							九州栄養福 祉大食物 栄養		

別表4 (その4:生活科学科生活科学専攻)

2013年度卒 鹿大教育	2014年度卒 鹿大教育 家政	2015年度卒 鹿大法文 人文	2016年度卒 鹿大教育	2017年度卒 佐賀大理工 都市工学	2018年度卒 北九州市立 大国際環境 工学サイ ン(2)	2019年度卒 佐賀大理工 都市工(2)	2020年度卒 鹿大教育 家政	2021年度卒 鹿児島純心 女子大人間 教育・心理 栄養	2022年度卒 北九州市立 大国際環境 工学サイ ン
佐賀大文化 教育(推)	鹿大教育 理科	鹿大教育 家政	佐賀大文化 教育	鹿大教育 家政		北九州市立 大国際環境 工学サイ ン	滋賀県立大 環境科学 環境建築 デザイン(2)	京都精華大 芸術造 形	鹿大教育 特別支援 教育
	京都女子大 発達教育								鹿大教育 家政

(推)は学校推薦 学科やコースが判明している場合は、大学、学部に加え学科やコースまで記載

別表 4 (その5: 商経学科経済専攻)

2013年度卒	2014年度卒	2015年度卒	2016年度卒	2017年度卒	2018年度卒	2019年度卒	2020年度卒	2021年度卒	2022年度卒
	鹿大法文 経済情報		鹿屋体育大 体育	鹿大法文 経済情報(3)	鹿大法文 法経社会(2)	鹿大農 業生産科学		鹿大法文 法経社会(3)	鹿大法文 法経社会(2)
			大分大経済	下関市立大 経済 国際商	広島大文 人文	鹿大法文 法経社会		鹿屋体育大 体育	
			愛媛大法文			日本大経済 経済		久留米大経 済 経済	
						下関市立大 経済 経済		法政大経済 (通信)	
						帝京大経済 経済			

別表 4 (その6: 商経学科経営情報専攻)

2013年度卒	2014年度卒	2015年度卒	2016年度卒	2017年度卒	2018年度卒	2019年度卒	2020年度卒	2021年度卒	2022年度卒
	鹿大法文 経済情報	鹿大法文 人文	鹿大法文	日本大経済 産業経営	鹿大法文 法経社会(2)	大分大経済	鹿大法文 法経社会(2)	鹿大法文 法経社会(2)	鹿大法文 法経社会(2)
	福岡大経済	鹿大法文 経済情報		下関市立大 経済 経済	長野大企業 情報 企業 情報		神戸大経営	駒澤大経済 現代応用経 済 (推)	志尊館大法 法ビジネス
	ウイッスコン シン州立大	ウイッスコン シン州立大			駒澤大経済 経済		富山大経済 経営		駒澤大経済 商 (推)

別表 4 (その7: 第二部商経学科)

2013年度卒	2014年度卒	2015年度卒	2016年度卒	2017年度卒	2018年度卒	2019年度卒	2020年度卒	2021年度卒	2022年度卒
愛媛大法文		信州大経済 経済システム 法	鹿大法文		日本福祉大 通信教育部	鹿大法文 法経社会			京都ノートル 女子大国際 言語文化 国際日本文 化
拓殖大商									

(推) は学校推薦 学科やコースが判明している場合は、大学、学部に加え学科やコースまで記載

